

○第56回肥料・飼料等/第30回微生物・ウイルス合同専門調査会
(薬剤耐性菌に関するWG)

日時：平成24年5月14日(火) 14:00~15:15

議事概要：

(1) 家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響評価について

・飼料添加物ノシヘプタイド

・審議の結果、

○ ノシヘプタイドを家畜等に使用することによって選択された薬剤耐性菌が、食品を介してヒトの健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。

○ なお、薬剤耐性菌に関する詳細な情報について、現時点では十分とは言えないので、リスク管理機関である農林水産省において引き続き情報の収集に努めるべきと考える。

とすることが了承され、評価書(案)を一部修正の上、食品安全委員会に報告することとなった。

*含硫ペプチド系抗生物質で、国内では飼料添加物として指定され、鶏、豚に使用されています。

(2) 鶏に使用するフルオロキノロン系抗菌性物質製剤に係る薬剤耐性菌に関する食品健康影響評価について

・特定されたハザードに関する必要な知見について審議され、さらに情報収集した上で、専門委員からの意見を踏まえて評価書(案)を作成することとされた。

*広範囲な抗菌活性を持っている抗菌性物質で、感染症の治療に使用されています。